

先程の小西さん、山崎さんの発表は、やる気がひしひしと感じられる内容で、とても良かったです。さて、令和3年度がスタートしました。皆さん、高い目標が定まっていますか。3年生の皆さん、いよいよ進路を決める1年です。2年生の皆さん、明日後輩が入学し、先輩らしい見本を示す1年です。一人一人が、井波中学校の伝統をしっかりと受け継ぎながら、より良き伝統を築き、3月には更に進化を遂げた井波中学校となることを期待します。

ここで、一年の出発にあたり、私からの願いを伝えたいと思います。それは、積み上げる徳を「カタチ」として積極的に表して欲しいということです。皆さんのおかげで、道徳性が学校全体として向上してきているように感じています。この感触の一つは、令和元年4月から続いている「いじめ認知0」であり、ふざけや冷やかしは生じますが単発で終わるといふ、心穏やかな校風が根付いているところから来ています。

私は「思いやり」や「強い意志」、「礼儀」や「集団生活の向上」など、22の徳目を磨くことは、学力の向上に結びつくものと信じています。しかし、心の内面を評価することは難しく、相手の気持ちに寄り添うことはできても、理解するところまでは及ばないものです。でも、何某かの「カタチ」として表に現すことで、自分にとっても相手にとっても、分かり合える部分が増えるのではないかと考えます。

去年は鬼滅の刃ブームが巻き起こりました。私も、映画館で「無限列車編」を見て、心優しいかまどたんじろう少年が、妹のねずこや柱である「煉獄きょうじゅろう」と力を合わせて鬼に対抗するストーリーに感動しました。家族や仲間との強い絆、煉獄さんのセリフ「俺は信じる 君たちを信じる」にみられる強い信念等が「姿」として表れていたように思います。私たちの日常に目を転ずるなら、深々とおじぎをする、気持ちが自然にこもった拍手を送る、仲間の机の整頓をしてあげる、自主練習を陰で続ける、誰もやりたがらない仕事を引き受ける、授業であまり会わない校内の職員や、作業員など学校に来られた来客の方々に「こんにちは」と進んで挨拶する、優先席のステッカーが貼られてなくても目の前に高齢者が立っていたら席を譲る、そして、感謝の気持ちを手紙等に文としてためらわずに表せるなど、徳を磨くことにつながる場面は数多くあります。地道に徳を積み上げ、豊かな心の持ち主となること、また、県内でも指折りの、できれば1番となる道徳性の高い学校となることを目指して欲しいと思います。なお、これにつながる心がけとして「相手の幸せを心から願う」など、18コのヒントを校長室前に「所作」として掲示してありますので、参考にしてみてください。

結びに、学校休業でのスタートとなった昨年でしたが、皆で乗り越えてきました。井波中学校の校訓である「自主完遂・明朗闊達・質実剛健」は、だてではありません。今年も「新

しい生活様式」は守っていかなくてははいませんが「正しく恐れつつ、適切なる判断を下し、しなやかに対応すること」が大切であると考えます。命と健康を最優先とし、生徒のみなさんと教職員が仲良くしながら学校生活を送り、夢や希望が実現する年となることを願って、私の式辞とします。